令和５年度 学校だより

令和５年１２月２２日

にしはら

冬休み前号

渋谷区立西原小学校

「西原美術館　地域とともに」
～95 周年記念　展覧会～

校長　曾我　泉

いつもは体育で使っている体育館が、美術館に様変わり。子供たちの工夫を凝らした作品が並びました。それぞれの思いがあふれた作品は、同じ題材でも個性が発揮され、色とりどりの作品となり体育館を華やかに彩りました。

９５周年をお祝いする共同作品も目を引きました。みんなのちょっとずつが集まった共同作品は、仲間を意識したり、過去から未来へのつながりを想像したり、展覧会をより華やかに演出しました。５年生は過去の西原小学校の周辺を、６年生は未来の西原小学校の周辺を想像して作品に仕上げました。子供たちの地域への思いがあふれていました。４年生の作品の一部は、西原商店街事務所の前にも飾らせていただきました。地域の協力に感謝です。

今回の展覧会では、鑑賞をペア学年で行いました。１・６年生、２・４年生、３・５年生のペア学年による鑑賞では、それぞれの学年がどんな作品作りをしたか、どんな工夫をしたか、具体的に聞き、興味を高める場となりました。高学年が、下の学年の子たちの話を一生懸命に聞く姿が印象的でした。オープンスクールも行われ、近隣の園児の皆さんが、６年生と一緒に鑑賞しました。

学校公開を行った土曜日の５時間目は、ペア図工の時間でした。鑑賞を行った学年と一緒に、みんなで「ぶんぶんコマ」作りを楽しみました。作るより回すことが難しく、苦戦している様子が見られました。穴の位置を変えたり、紐の長さを調整したりしながらできた人が教えていき、だんだんできる子が増えていきました。

展覧会が、表現の発信の場となったことはもちろん、交流の場となり、刺激し合う場になりました。「西原」への思いがつながっていくことを感じました。

学校公開の２・３校時に、６年生を対象とした「キャリア教育」を行いました。保護者や地域の方にお越しいただき、「仕事について語る」授業でした。

お仕事の内容はもちろんのこと、思いやきっかけなどのお話もありました。６年生の子供たちは、みなさんのお話を聞き、たくさんメモをしていました。これまで知らなかった「仕事」についてや見えていない内容や思いについて知ることで、「働く」ことについて考え始めています。６年生はこれをきっかけに「今後の自分のキャリア」について更に考えていきます。

これまでに学習したことと結び付けながら、自分なりの思いを表現する機会となるようにすすめていきます。